

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公表番号】特表2002-522462(P2002-522462A)

【公表日】平成14年7月23日(2002.7.23)

【出願番号】特願2000-564574(P2000-564574)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/517	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/517	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月11日(2006.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

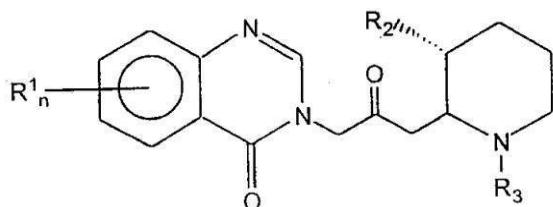
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】心線維症を治療するための組成物であって、次式、

【化1】



にて表される群の要素である化合物及び薬学的に許容可能なその塩の薬学的有効量を薬学的に許容可能な担体とともに含み、

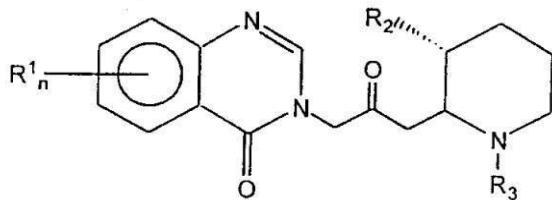
式中、

R<sub>1</sub>は、水素、ハロゲン、ニトロ、ベンゾ、低級アルキル、フェニル、及び低級アルコキシからなる群の要素であり；R<sub>2</sub>は、ヒドロキシ、アセトキシ、及び低級アルコキシからなる群の要素であり；R<sub>3</sub>は、水素及び低級アルケノキシ-カルボニルからなる群の要素であり；nは1または2である組成物。

【請求項2】前記化合物はハロフジノンである請求項1に記載の組成物。

【請求項 3】心線維症を治療するための薬剤の製造方法であって、次式にて表される群の要素である化合物及び薬学的に許容可能なその塩の薬学的有効量を薬学的に許容可能な担体中に入れる工程を含み、

【化 2】

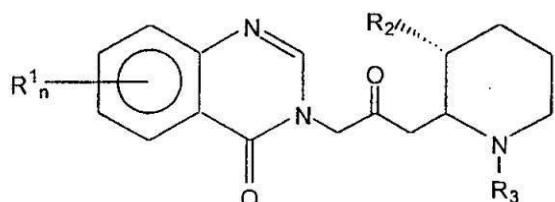


式中、

$R_1$ は、水素、ハロゲン、ニトロ、ベンゾ、低級アルキル、フェニル、及び低級アルコキシからなる群の要素であり； $R_2$ は、ヒドロキシ、アセトキシ、及び低級アルコキシからなる群の要素であり； $R_3$ は、水素及び低級アルケノキシ-カルボニルからなる群の要素であり； $n$ は1または2である製造方法。

【請求項 4】心線維症を実質的に予防するための組成物であって、次式、

【化 3】



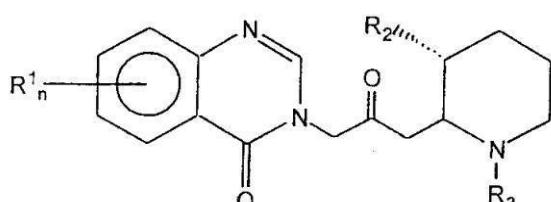
にて表される群の要素である化合物及び薬学的に許容可能なその塩の薬学的有効量を薬学的に許容可能な担体とともに含み、

式中、

$R_1$ は、水素、ハロゲン、ニトロ、ベンゾ、低級アルキル、フェニル、及び低級アルコキシからなる群の要素であり； $R_2$ は、ヒドロキシ、アセトキシ、及び低級アルコキシからなる群の要素であり； $R_3$ は、水素及び低級アルケノキシ-カルボニルからなる群の要素であり； $n$ は1または2である組成物。

【請求項 5】心線維症を実質的に予防するための薬剤の製造方法であって、次式、

【化 4】



にて表される群の要素である化合物及び薬学的に許容可能なその塩の薬学的有効量を薬学的に許容可能な担体中に入れる工程を含み、

式中、

$R_1$ は、水素、ハロゲン、ニトロ、ベンゾ、低級アルキル、フェニル、及び低級アルコキシからなる群の要素であり； $R_2$ は、ヒドロキシ、アセトキシ、及び低級アルコキシからなる群の要素であり； $R_3$ は、水素及び低級アルケノキシ-カルボニルからなる群の要

素であり；nは1または2である製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

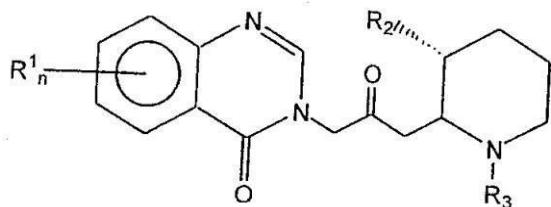
【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

【化5】



式中、R<sub>1</sub>は、水素、ハロゲン、ニトロ、ベンゾ、低級アルキル、フェニル、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>2</sub>は、ヒドロキシ、アセトキシ、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>3</sub>は、水素及び低級アルケノキシ-カルボニルからなる群からなる群の要素である。これらの化合物群の内、こうした治療においてハロフジノンが特に有効であることが示されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

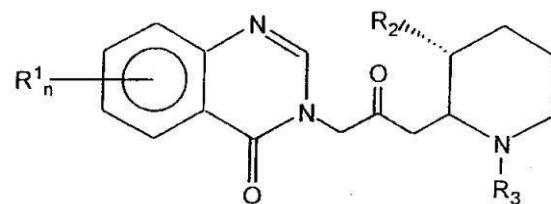
【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

【化6】



ただし式中、R<sub>1</sub>は、水素、ハロゲン、ニトロ、ベンゾ、低級アルキル、フェニル、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>2</sub>は、ヒドロキシ、アセトキシ、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>3</sub>は、水素及び低級アルケノキシからなる群の要素であり、nは1または2であるような組成物である。最も好ましくは、この化合物はハロフジノン及び薬学的に許容可能なその塩である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

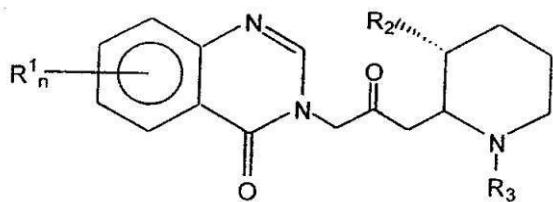
【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

## 【化7】



ただし式中、R<sub>1</sub>は、水素、ハロゲン、ニトロ、ベンゾ、低級アルキル、フェニル、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>2</sub>は、ヒドロキシ、アセトキシ、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>3</sub>は、水素及び低級アルケノキシからなる群の要素であり、nは1または2である。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

## 【化8】



ただし式中、R<sub>1</sub>は、水素、ハロゲン、ニトロ、ベンゾ、低級アルキル、フェニル、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>2</sub>は、ヒドロキシ、アセトキシ、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>3</sub>は、水素及び低級アルケノキシ-カルボニルからなる群の要素であり、nは1または2である。

## 【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

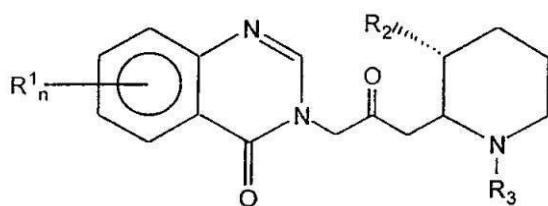
【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

## 【化9】



ただし式中、R<sub>1</sub>は、水素、ハロゲン、ニトロ、ベンゾ、低級アルキル、フェニル、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>2</sub>は、ヒドロキシ、アセトキシ、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>3</sub>は、水素及び低級アルケノキシ-カルボニルか

らなる群の要素であり、nは1または2である。薬学的に許容可能なその塩も更に含まれる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

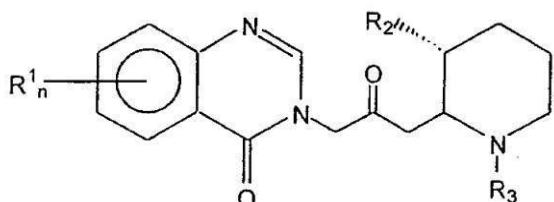
【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

【化10】



ただし式中、R<sub>1</sub>は、水素、ハロゲン、ニトロ、ベンゾ、低級アルキル、フェニル、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>2</sub>は、ヒドロキシ、アセトキシ、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>3</sub>は、水素及び低級アルケノキシ-カルボニルからなる群の要素であり、nは1または2である。薬学的に許容可能なその塩も更に含まれる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

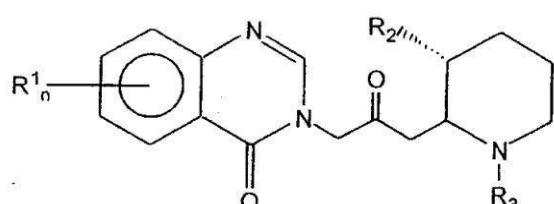
【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

【化11】



ただし式中、R<sub>1</sub>は、水素、ハロゲン、ニトロ、ベンゾ、低級アルキル、フェニル、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>2</sub>は、ヒドロキシ、アセトキシ、及び低級アルコキシからなる群の要素であり、R<sub>3</sub>は、水素及び低級アルケノキシ-カルボニルからなる群の要素であり、nは1または2である組成物。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

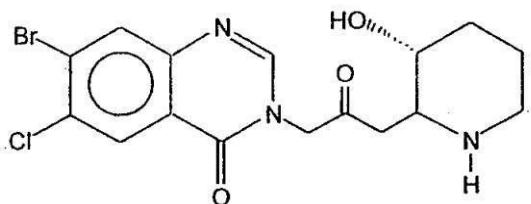
【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

【化12】



組成物はこの化合物に対する薬学的に許容可能な担体を含むことが好ましい。

上記に述べた化合物のすべてが、この式にて表される化合物自体であるかもしくは薬学的に許容可能なその塩であるかもしくはその両方であることが好ましい。